

平成30年度 職員のワーク&ライフ・サポートプログラム

実施状況報告

～第二次・次世代育成支援のための大田区特定事業主行動計画～

令和元年10月

大 田 区

## 1 目的

平成27年5月に策定した「職員のワーク&ライフ・サポートプログラムー第二次・次世代育成支援のための大田区特定事業主行動計画（前期）ー」の着実な実施に役立てるため、本計画における平成30年度の取組み状況を報告します。

## 2 取組み状況

### （1）プログラムの周知

区ホームページ及び区職員向けグループウェアに掲載し周知を図っています。

### （2）各種制度の周知

母体保護、育児休業、介護休暇、休暇、超過勤務の制限など各種制度を「サービス等の手引き」や「職員のためのワーク&ライフサポートハンドブック」等を区職員向けグループウェアに掲載することにより周知を図っています。

### （3）職員配置等に関する配慮

職員の育児・介護等に配慮した配置管理を行っています。

また、昇任選考の実施時に一時保育を実施しています（平成30年度の実績はなし）。

### 3 取得状況等

#### (1) 出産、育児に関する休暇等取得状況（平成 30 年度）

休暇等の種類	女性	男性	合計
育児休業（取得率）	69名(100.0%) [48名(100.0%)]	5名(9.6%) [5名(9.4%)]	74名(61.2%) [53名(52.5%)]
育児短時間勤務	0名 [1名]	0名 [0名]	0名 [1名]
部分休業	38名 [72名]	4名 [5名]	42名 [77名]
育児時間	19名 [24名]	3名 [5名]	22名 [29名]
子の看護のための 休暇	168名 [180名]	200名 [183名]	368名 [363名]
出産支援休暇		48名 [44名]	48名 [44名]
育児参加休暇		35名 [32名]	35名 [32名]
男性職員が、子の出生時に5日間以上の連続休暇を取得（取得率）		30名(57.7%) [19名(35.8%)]	30名(57.7%) [19名(35.8%)]

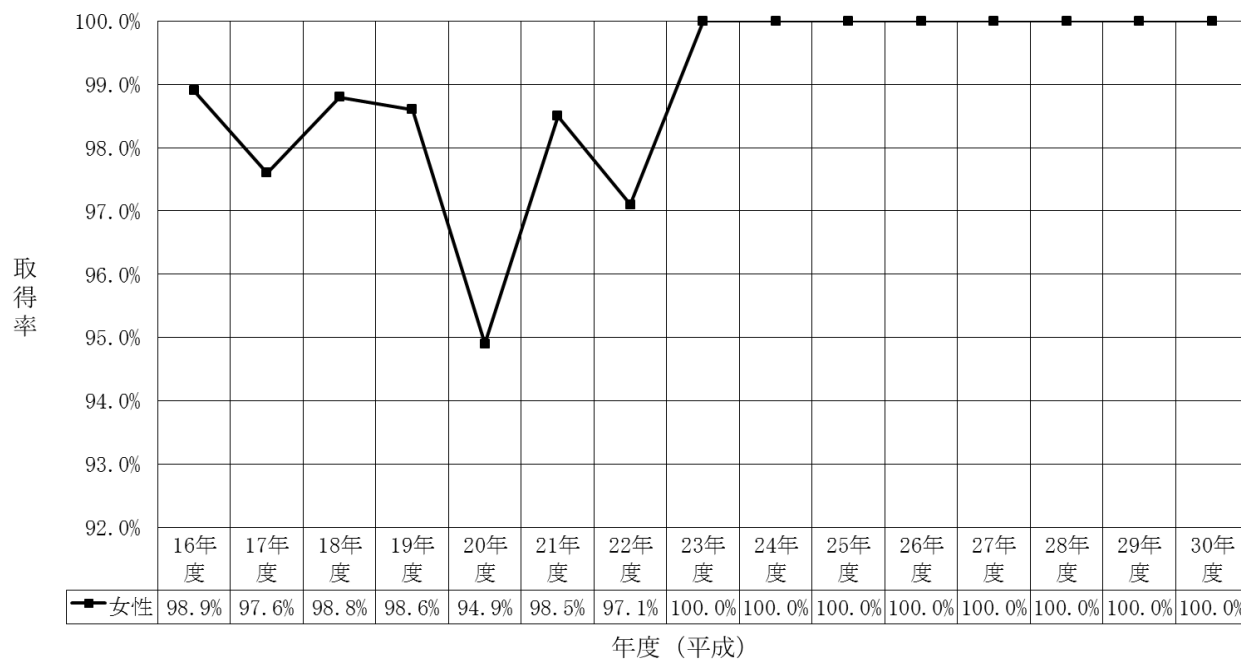
※下段[ ]内の数字は前年度の取得状況です。

本プログラムでは、次の数値目標を設定しています。

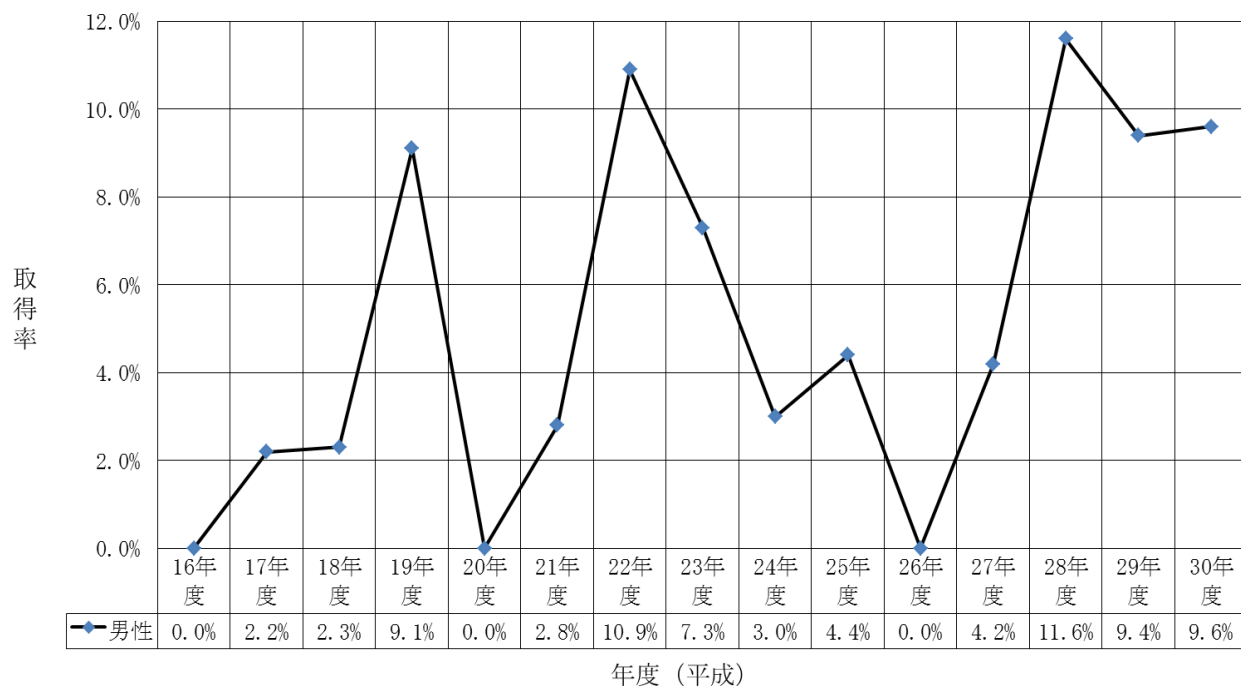
- ① 女性職員の育児休業の取得率  
平成 21 年度から平成 25 年度の平均の取得率（99.1%）の維持・向上を目標とする。
- ② 男性職員の育児休業の取得率  
平成 31 年度までに 10%を目標とする。
- ③ 男性職員の子の出生時の 5 日間以上の連続休暇の取得率  
平成 31 年度までに 50%を目標とする。

(2) 育児休業の取得率の推移（常勤職員・男女別）

女性職員



男性職員



(3) 介護に関する休暇等取得状況（平成30年度）

休暇等の種類	女性	男性	合計
介護休暇	6名 [ 2名]	2名 [ 5名]	8名 [ 7名]

※下段[ ]内の数字は前年度の取得状況です。

(4) 年次有給休暇の取得状況（平成30年度）

休暇等の種類	取得日数
年次有給休暇	16.1日 [ 15.5日]

※下段[ ]内の数字は前年度の取得状況です。

(5) 健康診断等の受診状況（平成30年度）

内 容	受診率	備考
健康診断	91.7% [ 91.9%]	
人間ドック	4.4% [ 4.6%]	人間ドック等を受診し、健康診断を受診しなかった者
合 計	96.1% [ 96.5%]	

※下段[ ]内の数字は前年度の受診状況です。